

調布市長 長友貴樹殿
調布市教育長 大和田正治殿

2022年1月25日
日本共産党調布市議団
岸本直子
雨宮幸男
武藤千里
坂内 淳

第9次新型コロナウイルス感染症対策に関する緊急要望書

新型コロナウイルス感染症オミクロン株の急拡大で、調布市の感染者数も増えており、保育園などの子ども関係施設の休園、小中学校の休校などが相次いでいます。市及び市医師会では、ワクチン接種、感染対策などの対策に追われていることと思います。日々のコロナ対策についての取り組みに敬意を表するものです。あわせて、今求められている対策の充実に関して以下要望いたします。

1. 福祉、保育、学校関係の職員、清掃事業の従事者などエッセンシャルワーカーへの優先的なワクチン接種を実施すること。このためのワクチンの供給など迅速に行うよう国や東京都に要望すること。市民へのワクチン接種を前倒しできるような体制を再構築するとともに、国に対して前倒しの方針を早急に決定し、ワクチンの供給を速やかに行うよう要望すること。
2. 医療機関での発熱外来の混雑により、医療機関への負担が大きくなっている。また、体調の変化に対して速やかに検査ができるようにすることで、保育園や学校での感染拡大防止にもつながる。その対策として、世田谷区ではすでに実施している、保育園や学校の児童生徒の家庭に対する抗原検査キットの配布を行い、具合が悪い時に速やかに家庭で検査ができるようにすること。また、市内の薬局や市役所などでも希望する人に抗原検査キットを配布できるようにすること。
3. 保育園や幼稚園、学童クラブ間での各施設の休園などの情報が共有できるように市としての情報提供を行うこと。
4. 東京都の支援策を利用し、小中学校の行事などの実施の際に、児童・生徒・職員のPCR検査をするなど感染防止対策を行うこと。
5. 東京都に対し保健所の体制強化を要望するとともに、コロナ対応の職員を増員し、感染者、自宅療養者への対応など、きめ細かな対応ができるようコロナ対応の職員を抜本的に増やすなど体制を整えること。